

※実務経験のある教員による授業科目

### 授業概要

「旅行産業」は世界的にみても今後も成長していく基幹産業であり、日本では製造業にとって代わる新しい国策に位置付けされている重要な産業である。そのビジネスモデルは、業界により異なるが、講師の旅行業界・航空業界での企画・商品造成・マーケティング・セールスの各分野での多彩な業務経験を生かして現場感覚を生かして講義する。従来のビジネスモデルを踏まえ、近未来の目指すべき方向性を織り交ぜて考える講義とする。

### 授業計画

第 1 回	オリエンテーション 評価方法・受講ルール、旅行の歴史、観光業の裾野
第 2 回	コロナ前とコロナ後の旅行ビジネスの推移と予測
第 3 回	宿泊ビジネス① 好収益ビジネスモデル アパホテル・星野リゾート
第 4 回	宿泊ビジネス② 日本・外資系の4ツ星・5ツ星ホテル
第 5 回	観光政策と自然環境の関係① 大型イベント・MICE・IR
第 6 回	観光政策と自然環境の関係② 本学だけができる環境保護と観光への取り組み
第 7 回	テーマパークのビジネス① 東京ディズニーリゾート (TDR) の世界観と今後の戦略
第 8 回	テーマパークのビジネス② ユニバーサルスタジオジャパン (USJ) 戦略、理解度小テスト①
第 9 回	旅行会社のビジネス① 大手旅行会社の歴史と経営戦略の練り直し
第 10 回	旅行会社のビジネス② ベンチャー企業 HIS のアフターコロナ戦略、OTA 各社の戦略
第 11 回	航空産業のビジネス① フルサービスキャリア (JAL/ANA) の復活と今後
第 12 回	航空産業のビジネス② ミドルコスト・ローコストキャリアのビジネス (SFJ、SKY、ZIP)
第 13 回	その他の旅行ビジネス① クルーズ旅行
第 14 回	その他の旅行ビジネス② 未来の乗り物：空飛ぶクルマ・ドローン・宇宙旅行
第 15 回	振り返り、理解度小テスト②、最終課題レポートの提出
第 16 回	試験もしくは最終レポート提出

### 到達目標

- ① 旅行ビジネスをコロナ前・アフターコロナに分けて、その変化とマーケット予測ができるようになる。
- ② 旅行会社・航空会社・宿泊業・テーマパーク各業界の今後の戦略を明確に理解し説明できるようになる。
- ③ 自然環境保護と観光とのつながりの習得とそのためのアクションプランを理解し、就活にも役立てることができるようになる。

### 履修上の注意

- ・授業計画は変更になることがあります。
- ・講義の理解を深めるため、講義テーマと連動する動画を視聴することがあり、欠席者は視聴できない。
- ・授業開始から 30 分までは遅刻として受講を認める。30 分以上遅れての入室は欠席扱いとする。遅刻 3 回で 1 回の欠席扱いとし、欠席の累計が 5 回を超えると単位付与は行わない。

### 予習・復習

- ・予習：授業の最後に、次回の授業で取り扱うメインテーマやキーワード（関連する用語）を提示するので、それを予習として行った上で次回授業に望むこと。
- ・復習：毎回の授業では「授業内課題シート」を記載し提出する。それを確実に習得することを課す。前半・後半に分けて「理解度小テスト」を 2 回実施し、復習状況のチェックとし、単位評定に反映する。

### 評価方法

以下の 3 項目を数値化し、それに受講姿勢と習得状況を精査した総合評価とする。

- ・平常点（毎回の授業内課題シートの提出） 50%
- ・理解度小テスト（前半・後半、2 回実施） 30%
- ・最終課題レポート 20%

### テキスト

テキスト指定なし

PPT 資料を作成し、メモを取る形式の講義を行います。手元資料を配布することもあります。